

燃料電池車(水素自動車)の試乗・見学

2月24日(水)に農業機械科1, 2年生が燃料電池車の試乗と見学を行いました。外部講師の方をお願いして実施をしたこの特別授業は長野県企業局が所有する公用車のうち、燃料電池車である『トヨタ MIRAI』と『ホンダ クラリティ フューエル セル』の2台を教材として活用させていただきました。

まずは、長野県企業局の電力事業、水道事業についての取り組みを紹介されました。次に実証実験として導入されている長野市川中島の水素ステーションの紹介をされました。

長野市から飯田市までの往復300km程度ならば、1回の水素充填で十分走行可能であること、普及促進のための補助金制度を紹介いただきました。

その後、校内において燃料電池車の試乗と燃料電池車による外部充電を見学しました。ガソリン車やジーゼル車とは異なり静かな乗り心地であり、アクセルを踏み込むとモータの力強い加速を感じることができました。内装も高級感を感じました。

燃料電池車による外部充電では災害時にライフラインとして電源供給できる仕組みなどを学びました。移動手段や趣味の範囲を超えたこれらの次世代の車の試乗や見学を通じて、更に自動車に対する興味関心を高めることに繋がりました。



試乗のため到着したMIRAI



企業局の説明



試乗のため乗り込む生徒



燃料電池車より電気を取り出す様子